※ 微分積分 II・数学 I

2008年度後期 水1限

- 5. Lagrange の乗数法 — 経済学への応用 -

1 2 財を生産する独占的な企業が、各財に対して次のような需要関数に直面しているとする.

$$Q_1 = 72 - 0.5P_1$$

$$Q_2 = 120 - P_2$$

ここで、 Q_1,Q_2 はそれぞれの財の需要量、 P_1,P_2 はそれぞれの価格を表す、また、これらを生産する ための結合費用関数 TC は

$$TC = Q_1^2 + Q_1Q_2 + Q_2^2 + 35$$

であり、さらに 2 つの財を合わせた最大生産量は 40、すなわち $Q_1+Q_2=40$ であるとする.このとき、利潤を最大にする各生産量および価格、さらにそのときの利潤の大きさを Lagrange の乗数法を用いて求めよ.

学生証番号:	 氏名:	